

適正利用・エコツーリズムWG担当 長期モニタリング新評価シート

(評価者：適正利用・エコツーリズムワーキンググループ)

モニタリング項目	No.19 適正利用に向けた管理と取組		
モニタリング実施主体	環境省（適正利用・エコツーリズムWG事務局）		
対応する評価項目	VII. レクリエーション利用等の人為的活動と自然環境保全が両立されていること。		
モニタリング手法	知床白書掲載内容及びエコツーリズム検討会議資料や行政機関等への聞き取り調査により適正利用に向けた管理と取組を抽出し列挙		
評価指標	管理と取組の実施状況		
評価基準	「知床エコツーリズム戦略9. 具体的方策」を実現するための管理と取組が行われていること。		
評価	<input type="checkbox"/> 評価基準に適合		<input type="checkbox"/> 評価基準に非適合
	<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 悪化
	<p>評価には別紙 No. 19 評価シートを参照</p> <p>※評価のめやす 「現状維持」： 「改善」「悪化」以外の状況。 「改善」： 前年と比較して新たな管理や取り組みが行われた。 「悪化」： 前年と比較して必要な管理や取り組みが極端に減少している。</p>		
今後の方針			

No.19 評価シート

項 目	
<p>(1) 利用コントロール</p> <p>・ 自然環境の保全、観光客の安全確保、原始性の保持、付加価値の向上等の目的に応じた利用コントロールが実施されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知床五湖利用調整地区制度の運用 (別添 19a-1) ・ 行政機関等による管理活動の実施 (別添 19a-2) ・ ○○○○
<p>(2) 守るべきルールの設定と指導</p> <p>・ 自然環境の保全、観光客の安全確保、地域の文化・生活への配慮等の目的に応じたルールが設定されているか。また、それらのルールの指導が行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政機関等による管理活動の実施 (別添 19a-2) ・ ○○○○
<p>(3) 情報の発信</p> <p>・ 地域主体のエコツアーの増加や守るべきルールの周知を目的とした情報発信が行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の公開および発信の運用 (別添 19a-3) ・ 情報発信 ・ ○○○○
<p>(4) ガイドの育成とガイド利用の推奨</p> <p>・ ガイドの育成が行われ、ガイド利用が推奨されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ○○○○
<p>(5) 文化的資産等の活用</p> <p>・ 保全に留意しながら文化的資産等が活用されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤岩昆布ツアーでの取組 (別添 19-○) ・ 「しれとこ森づくりの道」での取組 (別添 19-○) ・ ○○○○
<p>(6) 利益の還元</p> <p>・ 観光利用によって得られた利益が地域の自然や社会に還元されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知床ウトロ海域環境保全協議会での取組 (別添 19a-○) ・ 赤岩昆布ツアーでの取組 (別添 19a-○) ・ 知床五湖冬期利用での取組 (別添 19a-○) ・ ○○○○
<p>(7) 施設整備</p> <p>・ 年次計画による計画的な施設整備が行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ○○○○
<p>(8) モニタリング</p> <p>・ 観光客の評価 (満足度や感想など) やニーズ、行動特性の変化等がモニタリングされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 満足度調査等のアンケートの実施 (別添 19a-○) ・ 五湖冬期利用、赤岩地区昆布ツアーアンケート結果 (別添 19a-○) ・ ○○○○

(評価者：適正利用・エコツーリズムワーキンググループ)

モニタリング項目	No.20 適正な利用・エコツーリズムの推進		
モニタリング実施主体	環境省（適正利用・エコツーリズムWG事務局）		
対応する評価項目	VII. レクリエーション利用等の人為的活動と自然環境保全が両立されていること。		
モニタリング手法	遺産地域利用関係者への聞き取り調査により適正な利用やエコツーリズムの推進状況を把握		
評価指標	「知床エコツーリズム戦略」の基本方針に沿った事業の実施状況、利用者の増減、客層の変化、管理に対する懸念		
評価基準	「知床エコツーリズム戦略5.基本方針（1）、（2）」に基づき、適正な利用およびエコツーリズムの推進が行われているか。		
評価	<input type="checkbox"/> 評価基準に適合		<input type="checkbox"/> 評価基準に非適合
	<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 悪化
	<p>評価には別紙 No. 20 評価シート参照</p> <p>※評価のめやす</p> <p>「現状維持」：多くの事例で「改善」「悪化」以外の状況であり、適正な利用・エコツーリズムの推進が継続的に行われていると判断できる。</p> <p>「改善」：前年と比較して、新たな取り組みが行われた事例がある。それにより、利用者数や客層が変化するなど、自然環境や利用への懸念が少なくなった。</p> <p>「悪化」：前年と比較して運用状況の悪化や利用者数の急激な増加、客層の変化等があり、自然環境や利用への影響に懸念が増加している。</p>		
今後の方針			

No. 20 聞き取り調査用シート

団体名			
事業名			
事業内容			
記入日	平成 年 月 日	記入者	
		連絡先 TEL	

貴団体が催行されている事業、ツアーが該当すると思われる箇所の□にチェックの記入をお願い致します。

① 「知床エコツーリズム戦略」の基本方針に沿って事業を実施しているかお伺いします。

【基本原則】

- 遺産地域の自然環境の保全とその価値の向上に貢献している。
- 世界の観光客への知床らしい良質な自然体験を提供している。
- 持続可能な地域社会と経済の構築に役立っている。

【エコツーリズムを含む観光利用の推進にあたって必要な視点】

- 事業、ツアーが、地域主体・自律的・持続可能である。
- 事業、ツアーでは、共有・協働・連携などのネットワークが構築されている。
- 自然環境の保全に配慮している。
- 利用者の自然生態系に関する理解が促進されている。
- 事業及びツアーが、地域の文化・歴史的背景を踏まえて実施されている。
- 利用者へ自己責任の原則が認知され、管理責任の分担が行われている。
- 事業、ツアーは知床のブランド価値を高めるという視点がある。
- 事業、ツアーは順応的管理型で実施されている。

「知床エコツーリズム戦略」に則り、特に力を入れて取り組んでいることや、新たに始めた取り組みなどがあればご記入ください。

② 利用者数や客層、利用者の行動の状況についてお伺いします。

利用者数は、

- 増加している 減少している どちらともいえない

客層（特に、自然環境への配慮や世界自然遺産・知床についての知識があるかなど）は、

- 変化している 変化していない どちらともいえない

利用者数や客層、利用者の行動について、気がついたことや気になることがあればご記入ください。

③ 事業、ツアーで使用しているフィールドや地域の自然環境について、何か気になることや心配なことはありますか。

- ある ない

「ある」方は内容をご記入ください。

④ その他、事業・ツアーを実施していて何かお気づきのことがあればご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

(評価者：適正利用・エコツーリズムワーキンググループ)

モニタリング項目	No.21 利用者数の変化		
モニタリング実施主体	関係行政機関、事業者等		
対応する評価項目	VII. レクリエーション利用等の人為的活動と自然環境保全が両立されていること。		
モニタリング手法	利用者カウンターによるカウントおよびアンケート調査等により主要利用拠点における利用者数を把握		
評価指標	各利用拠点等の利用者数		
評価基準	基準なし（利用者の実態を把握し、様々な施策の検討の際の基礎的な情報を収集するためのモニタリング）		
評価	<input type="checkbox"/> 評価基準に適合		<input type="checkbox"/> 評価基準に非適合
	<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 悪化
	評価には別紙 No. 21 評価シート参照		
今後の方針	当面は評価基準なし。今後、遺産登録前からの利用の変動幅などに明確な傾向が確認できれば、評価基準の設定を検討する。		

No.21 評価シート

モニタリング項目	No. 21 利用者数の変化					
評価基準	基準なし					
評価指標	各利用拠点等の利用者数					
項 目	2005年 (遺産登録年)	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
斜里町観光入込数						
羅臼町観光入込数						
五湖園地全体利用者数 (駐車場利用者数+シャトルバス五湖利用者数)						
知床五湖高架木道・地上遊歩道利用者数						
知床五湖冬季利用者数						
知床五湖シャトルバス利用者数 (カムイワッカ以外の利用を含む)						
カムイワッカ来訪者数						
フレペの滝利用者数 (フレペの滝カウンター調査)						
連山登山道利用者数 (岩尾別カウンター)						
連山登山道利用者数 (硫黄山カウンター)						
連山登山道利用者数 (湯ノ沢カウンター)						
羅臼湖登山道利用者数 (羅臼湖カウンター調査)						
熊越えの滝利用者数 (熊越えの滝カウンター調査)						
陸路による知床岬、知床沼方面利用者数 (ウナキベツ・観音岩カウンター調査)						
岩尾別登山口、羅臼温泉登山口および硫黄山登山口における入林簿等からの入山数とそのうちの縦走利用者数						
ウトロ地区観光船利用者数						
羅臼地区観光船利用者数						
シーカヤック利用者数						
サケ・マス釣り利用者数 ウトロ						
サケ・マス釣り利用者数 羅臼						
知床自然センター利用者数						
羅臼ビジターセンター利用者数						
知床世界遺産センター利用者数						
知床世界遺産ルサフィールドハウス利用者数						

モニタリング項目	現 行	素 案		
	No. 19 利用実態調査	No. 19a(19) 適正利用に向けた管理と取組	No. 19b(20) 適正な利用・エコツーリズムの推進	No. 19c(21) 利用者数の変化
モニタリング実施主体	環境省	環境省(適正利用・エコツーリズムWG事務局)	環境省(適正利用・エコツーリズムWG事務局)	関係行政機関、事業者等
対応する評価項目	VII. レクリエーション利用等の人為的活動と自然環境の保全が両立されていること			
モニタリング手法	利用者カウンターによるカウントおよびアンケート調査等により主要利用拠点における利用者数を把握	知床白書掲載内容及び適正利用・エコツーリズム検討会議資料や行政機関等への聞き取り調査により適正利用に向けた管理と取組を抽出し列挙	遺産地域利用関係者への聞き取り調査により適正な利用やエコツーリズムの推進状況を把握	利用者カウンターによるカウントやアンケート調査等により主要利用拠点における利用者数を把握
評価指標	利用者数、利用方法、利用者特性	管理と取組の実施状況	知床エコツーリズム戦略の基本方針に沿った事業の実施状況、利用者の増減、客層の変化、自然環境への懸念	各利用拠点等の利用者数
評価基準	各利用拠点の特性に応じた適正な利用となっていること。	「知床エコツーリズム戦略 9. 具体的方策」を実現するための管理や取組が行われていること。	「知床エコツーリズム戦略 5. 基本方針(1)、(2)」に基づき、適正な利用およびエコツーリズムの推進が行われているか。	基準なし(利用の実態を把握するためのモニタリング)
想定されるデータ収集先	-	知床白書、エコツーリズム検討会議資料、環境省、林野庁、北海道、斜里町、羅臼町、知床財団、斜里町観光協会、羅臼町観光協会ほか	環境省、林野庁、斜里町、羅臼町、知床財団、斜里町観光協会、羅臼町観光協会、知床ガイド協議会、知床羅臼ガイド協会、知床小型観光船協議会、知床羅臼観光船協議会、赤岩地区昆布ツアー一部会、知床五湖冬期利用促進事業検討部会、観光船・ガイド事業者ほか	環境省、林野庁、北海道、斜里町、羅臼町、知床財団、自然公園財団、羅臼遊漁船組合、斜里バス、観光船・ガイド事業者ほか